

平成27年度第2回川崎市子ども・子育て会議 議事録

日時：平成27年8月25日（火）19時00分から

場所：川崎市役所第3庁舎18階 大会議室

■出席者

委員

川崎地域連合 副議長	稲富 正行 氏
公益財団法人川崎市生涯学習財団 理事長	金井 則夫 氏
川崎市民生委員児童委員協議会 会長	齊藤 喜信 氏
鎌倉女子大学短期大学部 教授	佐藤 康富 氏
学校法人鷗友学園 特別顧問	柴田 頼子 氏
川崎商工会議所 副会頭	鈴木 直久 氏
NPO法人 グローイン・グランマ 代表	関 和子 氏
NPO法人 子育て支えあいネットワーク満 コンシェルジュ事業担当	関川 房代 氏
公募委員	竹川 由梨乃 氏
川崎市北部地域療育センター 副所長	地村 明子 氏
田園調布学園大学みらいこども園 園長	長南 康子 氏
洗足こども短期大学教授	坪井 葉子 氏
公募委員	中野 陽子 氏
元 和泉短期大学 教授	中村 美津子 氏
川崎市青少年指導員連絡協議会 理事	野垣 良子 氏
株式会社 ぶどうの木 代表取締役	堀 晴久 氏
田園調布学園大学 教授	村井 祐一 氏
専修大学 教授	吉田 弘道 氏

事務局

市民・こども局こども本部長	小池 義教
市民・こども局こども本部子育て施策部長	村石 彰
市民・こども局こども本部子育て施策部こども企画課長	野神 昭雄
市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課長	眞鍋 伸一
市民・こども局こども本部子育て施策部青少年育成課担当課長	萱原 諭
市民・こども局こども本部こども支援部こども福祉課長	鈴木 宣子
市民・こども局こども本部こども支援部こども家庭課長	佐藤 佳哉
市民・こども局こども本部児童家庭支援・虐待対策室担当課長	北谷 尚也
市民・こども局こども本部子育て推進部保育課長	田中 眞一
市民・こども局こども本部子育て推進部保育課担当課長	須藤 聖一
市民・こども局こども本部子育て推進部保育所整備課長	蔵品 智夫
市民・こども局こども本部子育て推進部保育所整備担当課長	佐藤 直樹

市民・こども局こども本部子育て推進部担当課長（事業調整・
待機児童対策担当）

織裳 浩一

市民・こども局こども本部子育て推進部担当課長（運営支援・
人材育成担当）

奈良 眞澄

傍聴者

なし

■配布資料

【第1部】

川崎市子ども・子育て会議委員名簿

川崎市市民・こども局こども本部及び関係局出席者名簿

川崎市子ども・子育て会議条例

■開会

■議事

（開会にあたり、事務局より、全委員 22 名中 18 名が出席し、会議条例第 6 条第 2 項の規定により、委員の半数以上が出席し会議の定足数を満たし会議が有効である旨の説明がなされた。）

■挨拶

（小池こども本部長から挨拶）

■委嘱式

（「川崎市子ども・子育て会議委員名簿」の順に、こども本部長から委嘱状を交付）

・委員の任期

公募委員の 2 名、平成 27 年 8 月 13 日から平成 29 年 8 月 12 日までの 2 年間、

その他の委員は、平成 27 年 8 月 1 日から平成 29 年 7 月 31 日までの 2 年間、

佐藤委員、吉田委員は、平成 26 年 4 月 14 日から平成 28 年 4 月 13 日までの 2 年間となっており、任期中のため、委嘱は行わない旨、事務局から説明。

■出席者照会

（事務局側の出席者の紹介）

■会長及び副会長の選出

（会長について、金井委員から村井委員を推薦する発言あり。異議なしで、村井委員が会長。）

（副会長について、中村委員から柴田委員を推薦する発言あり。異議なしで、柴田委員が副会長となる。）

— 第 1 部終了 —

■配布資料

【第2部】

資料1：川崎市子ども・子育て会議部会について

資料2：川崎市子ども・子育て会議 平成27年度第1回教育・保育推進部会資料

資料3：「新たな総合計画 素案」

資料4：市政だより 特別号（2015年8月）

資料5：「新たな総合計画 素案」に関する意見募集について

資料6：「(仮称)川崎こども心理ケアセンターかなで」概要【第2部】

村井会長、柴田副会長から、それぞれ御挨拶。

(村井会長 御挨拶)

(柴田副会長 御挨拶)

〔1 議題〕

(1)「部会について」【審議事項】

(事務局より、資料1に基づき説明がなされ、「異議なし」で承認された。)

〔2 報告〕

(1)「利用者負担のあり方について」

(事務局より、資料2に基づき説明がなされた。)

<質疑等>

【村井会長】 方向性が示されたというところか。

【事務局】 方向性をお示しさせていただきまして、今後、関係局とつめてまいります。

【村井会長】 検討をよろしくお願ひしたい。

【吉田委員】 保育料の見直しの資料2では分からないのであるが、所得が低い、所得が高い層が何%、そのあたりの考え方があろうかと思うがいかがか。そこが一番関心の高いところなので。

【村井会長】 先ほどの説明からすると、3歳未満のところを少し調整し、3歳以上のところを変えてバランスを調整されるということであったと思うが。

【事務局】 前回の平成23年度の見直しについては、本会議資料としてお示ししています。今回の見直しはこれから関係局とつめてまいりますので、まだお示ししていな

いのですが、前回の見直しの際、3歳以上児は変えていないので、平成10年から変わっていない状況でございます。

【村井会長】 現時点では、大きな方向性が示され、これから具体的なものが出てくるということである。

〔2 その他〕

（1）「新たな総合計画 素案」について

（総合企画局企画調整課長より、資料4を主に用いて、パブリックコメント募集について説明がなされた。）

<質疑等>

【村井会長】 上位計画である総合計画の中にもこどもの計画が入っており、子どもの未来応援プランと連携して進めていくことになろうかと思う。そういった意味では、整合は図られているということによろしいのか。

【事務局】 整合をとらせていただいております。

【村井会長】 連携をよろしくお願いしたい。

（2）行財政改革に関わる計画の考え方と取り組みの方向性について

（総務局行財政改革室担当係長より、資料4を主に用いて、パブリックコメント募集について説明がなされた。）

<質疑等>

【村井会長】 満足度調査を実施しているが、通常[n]が示されると思う。市民の積極的な協力姿勢があってほしいと考えているところなので、どのくらいの数があったのか、何かタイミングで教えていただきたい。
また、地域包括ケアシステムビジョンは、福祉系の取組の中で捉えていけばよいのか。どのように位置づけられているのか。

【事務局】 福祉、医療の取組からできてくるものですが、行財政改革と関連するころもございまして、改革取組1「共に支える」という取組の中で、地域包括ケアの場合、行政単体で全て進めていくということではなく、地域の中での様々なつながりの中でやっていくこととなりますので、行財政改革とも関連してまいります。また、職員の働き方、「地域に出て行く」地域支援に取り組むということで、職員を育てるということにも関連してきます。

- 【村井会長】 地域包括ケアビジョンの言葉が出てこないのが少し残念であるが、非常に大きな改革が行われるということである。
- 【吉田委員】 市の安全安心に関して、マイナンバー制度のセキュリティは十分に準備ができているのか。
- 【事務局】 マイナンバーにつきましては、安全性を確保していかなければならないと考えております。様々な部分に使っていきたいところもございますので、私ども総務局のマイナンバー担当部署で、しっかりとやってまいる必要があると考えております。
- 【事務局】 先ほどのアンケートについてですが、素案冊子の154ページにアンケートについて記載されています。後ほど御覧いただきたいと存じます。
- 【事務局】 素案冊子の中でアンケートについてページを割くことに限界がございまして、市のHPにもアンケート結果について細かく掲載させていただいておりますので、御覧いただきたいと存じます。

(3)「(仮称)川崎子ども心理ケアセンターかなで」の開設について

(事務局より、資料6に基づいて説明がなされた。)

<質疑等>

- 【村井会長】 情緒障害児短期治療施設の整備について、子どもの未来応援プランにも記載されているが、今後、どのように機能していくのか非常に期待される場所である。定期的に情報提供をお願いしたい。
- 【吉田委員】 全国的に少ない施設である。県内2施設目ということで非常に重要。この施設の中に分校ができるということであるが、虐待を受けた子どもが多いので、よい職員を集められるようお願いしたい。
- 【金井委員】 西中原中学校に相談指導学級というのがあるが、本来は情緒障害児学級という位置づけである。そうした学級との連携も考えているのか。
- 【事務局】 児童は住民票を移しますので、学区は井田小学校、井田中学校となりますが、通所もありますので、今後、教育委員会とも相談させていただきます。
- 【竹川委員】 重要な施設であると感じているが、井田小学校、井田中学校に子どもが通う保護者への説明、啓蒙はどれくらいに予定しているのか。

【事務局】 施設の開所は今年の10月からですが、学校は来年の4月からなので、学校についての説明はこれからとなります。教育委員会と調整させていただきます。

【村井会長】 以上、本日の議題は全て終了になる。進行を事務局へお返りする。

■ 閉会

【事務局】 これをもって本日の会議は終了させていただきます。
委員の皆様、どうもありがとうございました。

以 上